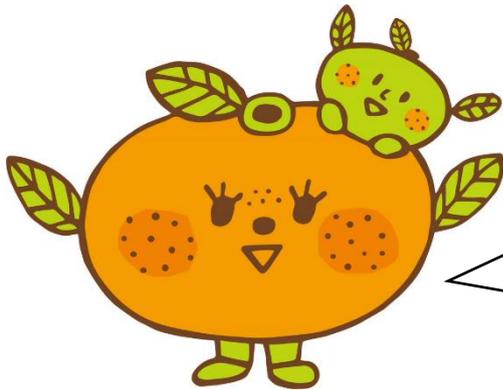


(3) 台風や大雨からくらしを守る



台風や大雨のひがいをふせぐために、家や地域、村はどんな工夫をしているのだろうか。

夏から秋にかけて、台風はわたしたちの村にしばしばひがいをもたらします。また最近では、大雨が続いてひがいを受けることもありました。

台風がそれほど島のそばを通らないときでも、強い風のため、海では波が高くなり、「フェリーみしま」が何日もうんこう運航できないこともあります。



【台風時の港の様子】

台風が島に近づいたときは、高い波で、道路や家、船などがこわれてしまうことがあります。そのため、港にていぼうがつくられています。

また、強い風や雨で屋根がふきとばされ、たても建物がたおれたり、電線がちぎれ、てい停電になったりすることもあります。

そのため、家では雨戸をしめたり、ひがいが大きいと予想されるときは、ひなん所がかいせつ開設されたりします。